



教 育 長 挨拶

静岡県教育委員会
教育長 池上 重弘

本日は関係者の皆様、御臨席のもと、令和4年度静岡県産業教育振興会定期総会が開催されますことを大変嬉しく存じます。

また、本振興会が長年にわたり、静岡県高等学校における産業教育の充実と発展にお力添えをいただいておりますことに対して、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、日頃の学びの成果を披露する大会や競技会が、中止や延期など、教育活動に制約がある中ではありましたが、資格取得を目標として地道に努力を積み重ねてきた生徒や、各地域の産業と密着し専門性を高めることができた生徒も数多くおりました。

農業関係では、磐田農業高校は、環境緑化活動や地域貢献への功績が認められ、「内閣総理大臣表彰」を受賞しました。

伊東商業高校は、地域課題の解決に向けビジネスプランを考案し、地元企業などと共同で商品開発につなげた活動等が認められ、文部科学省及び経済産業省から「優秀賞」を受賞しました。

また、高校生が情報モラルについて語り合う「高校生 ICT カンファレンス」では、掛川工業高校の河原崎さんが最優秀に選ばれ、関係府省庁の幹部に「フェイクを見極める」のテーマで提言を行いました。

県教育委員会では、これまでも、本県産業教育の充実を図るため、県内企業のグローバル化を肌で感じる「高校生海外インターンシップ」、実学系高校の学習内容や生徒の活動状況を県民にPRする「ふじのくに実学チャレンジフェスタ」などを実施してきました。また、知識と実践力を兼ね備えた地域人材を育成するため、産学官連携体制の構築と実践を推進し、生徒の知識・技術の確実な習得を支援していく「プロフェッショナルへの道」事業を昨年度から実施しております。

県教育委員会といたしましては、こうした取組により、時代のニーズに対応した産業教育の更なる充実を図ってまいりますので、本振興会に参画いただいております関係団体の皆様にも、これまで以上の御支援、御協力をお願いいたします。

結びにあたり、本日御臨席頂きました皆様をはじめ、本県産業教育並びに本振興会のますますの御発展を祈念いたしまして、私のあいさつといたします。